

第66回建築士会全国大会「鹿児島大会」報告

青年部・女性部

みなさま、いつも大変お世話になっております。山口支部青年部の神田です。先日の10/25に開催された鹿児島大会に参加してきましたので、報告をさせていただきます。主に青年委員会セッションと記念フォーラムに参加しました。青年委員会セッションでは各地域の代表県の発表を聞いて、各々の発表内容も多様な取組みがあり、パフォーマンス含めて完成度の高い発表となっていました。積み木を使ったワークショップや建築士のお仕事体験フェスなど、子供達に向けた将来の建築士につながる活動が多い印象を受けました。その中で、当ブロック（中四国）代表の愛媛県さんは最後の発表となり、実際の倒壊模型の実演をするなどインパクトを残し、優秀賞となりました。内容も防災に特化した取組みとなっており、他ブロックと内容が重複することなく、近年の災害対策などの時事にもマッチした内容であったと感じました。各県の発表を聞いて、取り組み内容も重要ですが、発表の方法やパフォーマンスで聞き手に伝わる印象も変わってくることを改めて感じ、わたし自身大変貴重な経験をさせていただきました。



記念フォーラムでは作家であり国文学者である林望先生、構造エンジニアの後藤一真先生、建築家の大西麻貴先生の対談を拝聴させていただきました。建物・風景を残すことを重要視される林先生の言葉も印象的でしたが、大西先生の「愛される建築」が最も印象に残りました。わたし自身、業務に追われる中で、見失ってしまっていないかを再度考え直させられるような内容で、大西先生の建築愛は人や風景すべてのものに対しての優しさ・

思いやりのようなものを感じました。実際に取り組まれている桜島の小中一貫校のプロジェクトをお聞きする中にも、たくさんの建築愛を感じることができました。また、構造エンジニアの後藤先生の3Dモデルを用いた構造解析など最先端の技術を拝聴させていただき、これからの建築の在り方や多様性にも順応していくことが求められているのだと改めて感じさせられました。対話の中でもお互いの考え方の違いや共感できるものなどのやり取りが新鮮で楽しく聞き入ることができました。



せっかく鹿児島まで行くので、2日目は青年部メンバーで建築探訪をしながら車で帰路につきました。今回の記念フォーラムでもご講演された大西先生の建物を見ることを目的とし、以下の建物を探訪してきました。

- 01：熊本地震震災ミュージアム
- 02：地層のフォリー
- 03：福智町図書館

熊本地震震災ミュージアムは、阿蘇の風景に馴染む流線美が綺麗な建物でした。木造と鉄骨造の混構造となっており、建物内部にも木架構が現れ、景色を取り込むような大開口の窓により、開放的な建物となっていました。印象的であったタイル屋根は低い位置からは部分的にしか見えませんが、1段高い丘の上にあがって見下ろすと全体が見え、大地を感じるような柔らかな印象を受けました。



地層のフォリーは大西さんが伊藤豊雄先生のワークショップの際に設計に携わられた案件で、ぐりんぐりん（福岡）のプロジェクトの敷地内に設置された公園の中の休憩所です。残念ながら設置エリア内が立ち入り禁止期間となっており、外から外観を見るに留まりました。外観から感じたものは大西さんらしい、風景に馴染む装いとなっており、砂色の外壁と屋上緑化が公園との一体感を感じさせる建築となっていました。



福智町図書館は、役場の建物をリニューアル改修して、図書館と歴史資料館に用途変更した建物

です。子供たちが喜ぶようなかわいらしいサインや色使いが印象的でした。既存の建物を残しながら用途変更して、リニューアルする設計は、新築の建物と異なり難しい設計だと思いますが所々に遊び心を感じ、大西さんらしい建築愛を感じる建物となっていました。



03：最後に

この度、はじめて全国大会に参加させて頂きましたが、中四国ブロック大会と比べても大規模なイベントとなっており、自分自身の成長のためにも良い勉強をさせて頂きました。次回も是非参加したいと思いました。貴重な経験もですが、なにより「楽しむ」ことができ、まだ、全国大会に参加されたことが無い方も来年は是非ともご参加頂ければと思います。

鹿児島大会こぼれ話（by 事務局）

鹿児島（鶴丸）城の表玄関「御楼門」は、明治6年に本丸の建物と共に消失しましたが、官民一体で再建に取組まれ、令和2年に鹿児島県建築士会の設計・監理により復元されました。工事費9億円で門の両側の柱は、1本1300万円とのこと。



徳山支部青年部の野村です。先日10/24、10/25に開催された鹿児島大会及び青年部フォーラムに参加させていただきました。



まず10/24の青年部フォーラムでは、地元鹿児島県の学生とまち歩きをし、①「自分の街と鹿児島の違い」②「他県からみた鹿児島の魅力と課題」③「自分の街に必要なモノとコト」の3つのテーマについてのワークショップをしました。

3つ目のテーマについて私は学生たちに特に伝えたい思いがあり、『自分たちの街に必要なことは地域の建築士が協力して街づくりを行っていくこと。その建築士達が団結できる場が建築士会です。』ということをお自分のグループの学生に話させていただきました。

最後、グループを代表して学生さんたちがそれぞれ発表してくださったのですが、私が伝えた上記の事を全体の場で代弁してくださいました。

鹿児島県の未来の若い会員が2、30人は増えたことでしょう。とてもいいことをした気分になりました。(冗談です。)



次に10/25の全国大会ですが、やはり一番楽しみにしていたのは記念フォーラムです。

R7 2/1に山口県建築士会青年部の企画の建築セミナーが開催されます。そこでご登壇いただくのが、今を時めく建築家の大西麻貴先生です。

その大西先生が全国大会の記念フォーラムにもご登壇されていましたので、予習もかねて参加させていただきました。とても心に響くことをおっしゃられておりましたので、気になる方は是非やまぐち建築セミナーにお越しになってください。

全国大会の帰路ですがせっかくなので大西先生の作品を観にということ事で熊本地震震災ミュージアム、地層のフォリー、福智町図書館を見学しにいきました。

熊本地震震災ミュージアム



写真左手前に熊本地震震災ミュージアム、右手奥に熊本地震で被災した旧東海大学阿蘇校舎が保存されてます。



被災した旧東海大学阿蘇校舎
※倒壊しないように内部は
補強ブレースが入ってます。

熊本地震震災ミュージアムが素晴らしい建物なのは言うまでもありませんが、この校舎の被災状

況をみて感銘を受けました。

躯体がはがれ剥き出しになった鉄筋、折れ曲がったサッシ等地震の恐ろしさ、耐震性の重要性を物語っております。

人々の生活を守る建築に関わる仕事の重要性を多くの人に伝えてくださる施設ですので是非お越しになってみてください。



皆様こちらの写真を見て何か感じられることはないでしょうか。

前頁の神田副部長の記事でも紹介されております元庁舎をコンバージョンした福智町図書館・歴史資料館です。この建物のすばらしさは十分伝えられているかと存じますが、私からはこの写真を通して建築に関わる皆様にお伝えしたいことがあります。

私は設計をさせていただく立場として、建物が美しく見えるよう設備との納まりを極力考えるように心がけております。なぜなら自分が携わっている建物は自分の分身やわが子のように感情移入をするからです。これは有名な建築家から一端の設計者まで同じような思いを抱く方は多いのではないのでしょうか。

いわゆる設計者のエゴといわれる部分ですが、時に予算の関係や設計範囲外の事であったりして、自分の思いに反した結果になってしまうことも多々あります。仕方がないこともありますが、その多くは事前の情報をいただいたり、一言相談をいただければ防げることもあります。

つまり何が言いたいかというと、この建物の顔(ファサード)に後施工の防犯カメラとその配管が、

露出配管で着色もなにもされていない状態で取り付けられております。

私も自分が設計させていただいた建物で似たような経験がございます。これには大変心を痛めました。

※あくまでこれは私の個人的な意見で大西先生は全く関係ありません。

ここからの文章もあくまで私の主観として述べさせていただきます。

大西先生の著書に“愛される建築を目指して”というものがございます。このワードは全国大会のフォーラムでもおっしゃられていました。

“愛される建築を目指して”というのは多くの建物の設計、施工に携われる方が抱くテーマではないでしょうか。

結局、自分がかかわった建物が、その建物を使う人たちに愛してもらいたいがためにデザインを考え、美しく仕上げようと試行錯誤します。

このエゴの積み上げこそが“愛される建築を目指して”の一步一步だと私は考えております。

大西先生のお話や建築からは多くの教訓を得ることができます。重ね重ねにはなりますが、2/1の建築セミナーに多くの方がお越しいただき、皆様それぞれの学びがあることを願っております。建築士会には入会しているけど行事には参加されたことのない方、建築士はもっているけど入会されていない方、これから建築士を目指す方、どなたでも参加をお待ちしております。

このセミナーをきっかけに私たちと一緒に建築士会を盛り上げてくださる方大募集です。

私たちの街に必要なことは地域の建築士が協力して街づくりを行っていくこと。その建築士達が団結できる場が建築士会です。

このことをこの記事を読まれた方が、会社の部下や後輩、友人や知り合いに代弁していただけると幸いです。きっと会員が2、30人は増えることでしょう。

以上、最後までお読みいただきありがとうございました。

第 66 回建築士会全国大会

【地域交流見学会】 のご報告



nagatoshibu/mashino fukiko

屋久島町役場・議会棟やくしまホール
(島の円形をなぞった八角形をモチーフに)



nagatoshibu/mashino fukiko

ヤクスギランド・昔の屋久杉伐採
(樹齢数千年の巨樹たちと出会えます)



yamaguchishibu/koutoku kyoko

甕島観光船かのこより鹿島断崖
海のブルーが美しかったです。



「撮影/上利裕子」yamaguchishibu/koutoku

小1から大人までのゴッタン演奏を聴く
大工が端材を使って作ったというゴッタン。
素朴な音と歌声が素敵でした。
#ゴッタン甕の会



yamaguchishibu/namba chie

約 8000 万年前からの地層が残っている甕島、
今なお古き良き文化自然が島民の努力により残って
いており素敵な所でした。

編集 shinnan'yoshibu/miyano reiko